



学校教育目標

自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

1月号 令和4年 1月7日

受け継ぐということ

ふくこうちょう ながしま まゆみ
副校長 長島 真弓

しんねん
新年あけましておめでとうございます。

れいわ ねん ねん じゅうにし ばんめ とら とら ちな とら まき ことば
令和4年、2022年は、十二支の3番目の寅となります。寅に因み「虎の巻」という言葉
おも う ちゅうごく つた ひょうほう ひでんしょ ことば ひょうほう
が思い浮かびますが、これは中国に伝わる兵法の秘伝書からきた言葉のようです。兵法
ごくい か きょうかしょ かいせつ さんこうしょ
の極意が書かれており、教科書を解説している参考書のようなものでいざというときにとても
やく た しょもつ いみ し おも
役に立つ書物を意味していることは、よく知られていることかと思えます。

みなさま ねんまつねんし す かんせんしゃすう したび
皆様は、年末年始をどのように過ごされたでしょうか。感染者数は、下火になってはいま
ねんまつねんし さくねん つづ かんれい きょうじ ふうぶつし さまざま えいきょう
したが、この年末年始においても、昨年に続き慣例の行事や風物詩に様々な影響があっ
たかと思えます。昨年は浦島小学校での風物詩も変化を余儀なくされたことは、皆様もご
ぞんじ とお うらしましょうがっこう でんとう う つ しんばい
承知の通りです。浦島小学校の伝統は受け継がれているのか心配になることがありました
たいせつ じゅうぶん う つ き つ
が大切なことは十分に受け継がれていることに気が付きました。

① しまりを守る風土が根付いています。コロナ禍で、ハイタッチや向き合って話をするこ
ちい いま しよくいん たいおう
と、小さなことですが今までよいとされてきたことができなくなりました。職員は、すぐに対応
はな あ いし どういつ しゅうかん へんこう やくそく あた
を話し合い意志の統一をする習慣があります。そして子どもたちに変更された約束や新しい
き つ こ うれ たいおう しゅうかん
決まりを伝えるのですが、子どもたちもしっかりと受け入れ対応する習慣をもっているのです。

② 子どもたちの命を守るために、この状況下でも避難訓練を実施してきました密を避け
かくねんべつ おこな なら とき かんかく じゅうぶん あ おお へんこう
るために、学年別で行ったり、並ぶ時は間隔を十分に開けたりなど大きな変更がありました。
かんじん かん と おこな ふうど かくねん し ごひと
そのような中でも肝心なことを感じ取りしっかりと行う風土があります。どの学年も私語一つ
き きんちょうかん さんか こ たいへんりっぱ
聞かれることなく、緊張感をもって参加する子どもたちは大変立派でした。

これらは、私たちの With コロナの兵法ではないでしょうか。受け継がれてきた習慣を「強
じっかん もじ ほんこう ききの き とら まき
み」と実感し、文字にあらわされてはいませんが、これが本校の危機を乗り越える「虎の巻」
かん
ではないかと感じました。